

登壇者プロフィール

ロザリン・ヨン

秋田大学 助教

秋田大学において、ひきこもりや社会的孤立をはじめとする心身・社会的課題をテーマに、研究および教育活動を行っている。研究や現場との協働を通じ、当事者や家族の視点を重視した支援のあり方について検討を重ねている。

佐野 茂樹

厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課
ひきこもり支援専門官

厚生労働省において、ひきこもり支援施策を担当。ひきこもり支援ハンドブックの作成をはじめ、全国の自治体における支援体制の整備や、地域に根ざした支援の推進に携わっている。国の施策と現場の実情をつなぐ立場から、ひきこもり支援の現状や課題に向き合っている。

横谷 祐輔

秋田県庁 健康福祉部 障害福祉課 主査

民間において障害者の就労支援業務(独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構〈JEED〉)に携わった後、令和4年度に秋田県庁入庁。令和5年度より、ひきこもり対策推進事業を担当。発達障害支援や障害者差別解消に関する業務にも従事している。教育学修士(特別支援教育専攻)。

小野 一彦

秋田県議会議員(農林水産委員長)

秋田県庁において長年行政実務に携わり、総合政策、地域振興、農山村施策などを担当。由利本荘市副市長、秋田地域振興局長を経て、2019年より秋田県議会議員。現在は農林水産委員長として、地域課題や住民生活に関わる政策立案・議論に取り組んでいる。